

## 教育改革事務部門管理者会議の開催結果

1. 開催日時：令和元年10月31日(水) 13:00～17:00
2. 開催場所：アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館） 5階 穂高
3. 参加者：117名（69大学、3短期大学） 前年度：111名（71大学、1短期大学）
  
4. 開催趣旨  
全学的な教学マネジメントの確立、学修成果の可視化と情報公表の促進について認識を共有する中で、学修成果の可視化による質保証の取組みと課題、ICTによる教育の質的転換と教学マネジメントの促進支援・IRの取組みなどについて、最新の情報を提供し、教育改革の促進に向けて理解を深める機会とした。
  
5. 実施内容
  - ① 「教育の質の保証と情報公表」として、文部科学省から教学マネジメント確立のための「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」について、学修成果の把握・可視化や情報公表などについて必要性を確認した。また、全国的な「学生調査」による教育の可視化について、目的・内容・方法等が説明された。
  - ② 「社会に通用する学修成果の獲得と卒業時の質保証の取組と展望」として、卒業段階での「ディプロマサプリメント」、各学年次での「プレ・ディプロマサプリメント」の活用、eポートフォリオの活用を通じて、学修習熟度を学生と教職員が共有してPDCAサイクルで成長を促していく取組みが紹介された。
  - ③ 「学修成果の可視化と学生IRシステムによる教育改善活動の取組と展望」として、「学士力・就業力」の可視化、学修成果の検証、PDCAサイクルの構築について「学生にフォーカスし一貫して見通すIRシステム」をポートフォリオや学修・生活行動チェックシートなどの活用により、入学から卒業までの学生の主体的な学びをデザインするエンロールマネジメントの取組みが紹介された。
  
6. 実施結果  
参加者のアンケートでは、以下のような感想・意見が寄せられた。
  - ① 本協会活動への要望については、「一步深く入り込んだ内容で勉強になった」、「会場内に意見や反応を見ながらの講演が良かった」、「教育の質保証システム普及に関する取組みに期待する」、「東京以外での開催」などが寄せられた。
  - ② 本会議で取り上げてほしいテーマについては、「IR」8件、「ポートフォリオ」6件、「教学マネジメント」6件、「学修成果の可視化」4件、「ディプロマサプリメント」4件、「データサイエンス教育」3件、「AIの活用やリテラシー教育」3件などの希望があった。